







# 平新報

発行日 五日発行  
 編集者 山野 庄吉  
 印刷所 新報社  
 発行所 平新報社  
 廣告料 五銭十二字第一行  
 一 部 定 価 五 銭  
 送 料 定 額 五 銭



代議士 黒木 清治 氏



平町西村屋敷 鈴木 堅助 氏



平町山崎合名会社 山崎 三郎 氏



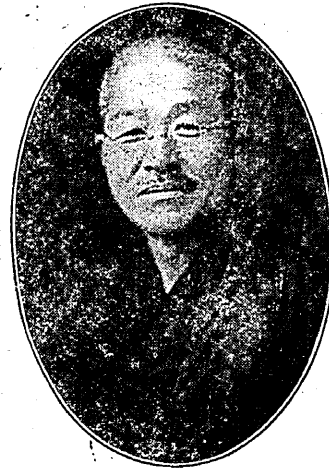
植田 町長 榎 昇 氏



政友會島支幹部 鈴木 辰三郎 氏



平沼防組頭 井上 茂作 氏



平沼金庫理事 沼沼 太郎 氏



平沼警察署長 榎 昇 氏



新妻 四ツ倉 町長 鈴木 盛 氏



伏見 平町長 衛 彦 氏

## 鈴木家の慶事

鈴木長三郎氏長女むめ子さんの青年教育家であり新婦はんと婚約成り十二月二十七日 磐城高女出の才媛である日子鐵倉神社々前に於て華燭の典を挙げ同日マルトモホールにて披露の宴を張つた、因みに新郎は現に田村中學校教諭にして將來有爲

「正談」  
 本紙五面記事中高堀信平氏よりあるは赤堀氏の誤植につき正誤す。  
 「印刷人」

## 農村民として 犬養内閣を迎ふ

石城郡養蠶奨励會長 木田 藤次郎

若槻内閣は政策の漸行可ばとかを、いつでもの總理  
 否によつて正々堂々と反對  
 黨たる政友會と一戦を交へ  
 て敢然と内閣總辭職へと進  
 へたのならば其勇を誇大する  
 も異口同音に激賞するに敢  
 して躊躇せぬものでありま  
 すが、内閣の内紛に依つて  
 即ち不統一暴露に依つて内  
 閣の椅子を弊廢の如く叩き  
 なげるなごあまりにも弱腰  
 なる内閣であつた事を勇敢  
 に物語られる事又異口同音  
 に立證せられます。そこで  
 お次に廻つて内閣組閣の大  
 命を拜したのが此れ即ち國  
 民黨から革新俱樂部を組織  
 し遂に臺所の切り廻し不能  
 に陥り身賣となつて時の田  
 中政友會總裁に〇〇の端  
 した金にて其軍門にへたば  
 りついた犬養毅さんが田中  
 總裁急死後床次竹次郎氏や  
 鈴木嘉三郎さんを横眼に視  
 野して時の政友會總裁と納  
 まり返つて居たばかりに  
 大命を拜受し出来た内閣が  
 即ち昭和七年一月元旦を九  
 千萬同胞と共に迎ふる犬養  
 内閣であつて一名犬養、鳩  
 山、芳澤、鈴木の親戚五内  
 閣と云ふのであります。そ  
 こで吾等農蠶民に如何なる  
 内閣の出現あるも未だ且て  
 農村の福利民福を得られた  
 ためしないのであります。  
 口には政友會内閣が出現せ  
 ばとか、民政黨内閣出現せ  
 め

「印刷人」

### 新年川柳

木田 藤水  
 中蔵のカランダツ猿の繪で  
 ブルドック猿廻しへ自慢  
 の聲で吠へ  
 號外屋満洲事件で戦さな  
 り  
 コ申の朝  
 民政黨内閣なげる内閣も

 鈴木邦三郎氏 在郷軍人石城聯合分會長 山崎清三氏	 比佐昌平氏 代議士	 諸橋久太郎氏 石城郡農會長	 加藤丈夫氏 警城剣道會長	 山崎宣吉氏 警城中學校教諭
 藤田榮助氏 在郷軍人平分會長	 草野順平氏 小川村	 關内正一氏 平町會議員	 白井一郎氏 平町紺屋町	 坂田藤助氏 坂田金物店
 中野康平氏 平町三丁目	 遠藤俊一郎氏 ヤマト醬油	 山田盤磨氏 福島民報平支局長	 鈴木長三郎氏 平消防組部長	 新田目春松氏 天保錢主義
 山野遼東次郎氏 山野邊藥局	 應崎正見氏 柔道六段	 永山勇吉氏 銘酒「由良乃助」	 大和田郡司氏 大和田耳鼻咽喉科醫院長	 井上貞治郎氏 警城建物會社
 吉田定太郎氏 吉田屋商店	 鯨岡潔氏 湯本郵便局長	 比佐榮一氏 松柏館主	 森合芳男氏 森合齒科醫院長	 綠川秀雄氏 荷路夫郵便局長法學士
 宗像國治氏 宗像金物店	 瀨尾善之進氏 瀨尾藥店	 關内榮助氏 關内藥局	 小野勇氏 小野藥店	 堀喜一氏 堀魁文堂

**話耳目**

不景氣、不景氣の聲で横溢し、緊縮が萎縮に化した昭和六年末の歳も去つて伸びんとする申歲が来たのである。政界は消極の民政から積極の政友と代つたが果して眞の景氣と人氣が出るかどうか、此處許當分下層階級は物價の上騰で困る事になる、但し米價が上つたので農民は妙しく、兎に角空人氣でもよろしい一日も早く事業を起して失業者やルンペンを救つて貰ひたいものだ。

**謹賀新年**

平町二丁目  
長瀬綾治郎  
志賀牛乳舎  
志賀國松  
本店高久村  
支店豊間村

**謹賀新年**

平町二丁目  
堀江正茂  
平町會議員

**謹賀新年**

平町二丁目  
馬目武之助  
平町會議員

**謹賀新年**

平町二丁目  
會田美髮所  
會田タミ

**謹賀新年**

平町二丁目  
石川倉吉  
双葉郡大久村

**謹賀新年**

双葉中學校教頭  
山崎光雄  
双葉郡新山町本町九

**湯原亮夫**

朝鮮全羅北道  
井邑警察署長

**馬守一**

植田郵便局長  
福島民報平支局長

**山田盤磨**

平町天保錢横町  
平町在郷軍人分會長

**藤田榮助**

平町町議前通  
野崎自動車  
合資會社  
野崎喜八郎

**長小次郎**

平町新川町  
縣會議員  
井上茂作

**荒川恒次郎**

平町久保町  
平町會議員

**平新報社**

山野邊眞立  
粟谷高一  
六戸武雄  
志賀正睦



### 申年に因むで 三猿文庫を公開

#### 諸橋氏文化運動の積極化



申年は語音が「去る」に因りて地方文化をリードする通ずるが故に婚姻は忌まれる社會運動のリーダーで潜るが實に無稽其愚を笑ふべきである。又「猿」は動物學的に城山の聖者大和山田豊吉氏の所蔵に利用されてしまふ程に古書珍籍の蒐集には熱があるが、新刊書に於ても不斷の努力を惜しまず好参考書となれば幸である云々

### 犬養内閣出現に連れ 浮び出た本縣人々

#### 本郡在京要路の人々

犬養内閣成立に連れて本地位を占めて居る人々の石縣人として台閣に列した人々を觀るに  
小宮大蔵次官 堀切善兵衛  
拓務次官 堀切善次郎  
右兩氏は兄弟である  
秋田縣知事 内田隆「安積」  
三郎氏が開放した  
**三猿文庫**  
名に因む三猿の蒐集は出身  
本縣、土境、郷土玩具、書内務次官 河原田稼吉  
船に有名無名の別なく藏し社會局長官 丹羽七郎「會」  
書籍に至つては地方で稀れ「津出身」  
なものである、從來總版、石の如くで次官の三人も出  
初版物に力を入れて蒐集して居る事は素晴らしいも  
たので装幀の凝つたもの或のである。  
は珍籍と稱すべきものが多、尚ほ教育、其他に在京有力

### 新年會

#### 警中同窓

例年の通り警城中學校同窓新年懇親會は三日午後六時より平町住吉屋本店新館で開催する、會費參圓

### 慶事

#### 橋本校長の

警城中學校校長橋本文藏氏は今回大森勇氏夫妻嫁約の下に土浦高等女學校教諭高木トイ女史と結婚成り十二月二十六日縣社子鏡倉神社々前結婚の式を挙げ同日大真に於て披露の宴を張つた

### 新年宴

#### 警中第十六回卒業二八會

友新年懇親會は例年の通り二日午後四時より平町越乃家にて開催

### 四日の出初式

#### と新陣容成つ

過般の家事都合上辭した小頭高野得助氏の後任、次三郎、消防警羽平三郎、代子  
いで副組頭石坂詮太郎翁の市原三三男、救護班清野野  
辭するありて平消防組は四  
日の出初式を控えて左の如  
く決定した、石坂組頭後  
任、部長たりし柏原幸次郎  
は町民深謝の至りである。

### 謹賀新年

山形縣鶴岡市最上町甲三 <b>遠藤平太</b> 平町土橋通	宮城縣氣仙沼町 徳ヶケ陳官舎 <b>猪狩清</b> 平町月見町	岐阜第二中學校 <b>河上和一</b> 根本品藏大	植田水力電氣株式會社 社長 <b>金成通</b> 平町二丁目	植田町 <b>片岡醫院</b> 片岡章	山崎登 警城中學校工業株式會社 社長 <b>小野晋平</b> 平町久保町	平町白銀町 <b>吉田禮次郎</b> 平町一丁目	高瀬活版所 平町仲町	光線科 警城中學校 電話二二九番
平町土橋通 <b>原齒科醫院</b> 原精一	平町月見町 <b>清水醫院</b> 清水廣政	平町月見町 <b>根本精米店</b> 根本品藏大	平町二丁目 <b>小松崎洗張本店</b>	平町五丁目 <b>志賀齒科醫院</b> 志賀與市	平町一丁目 <b>岡田牛乳店</b> 岡田千藏	平町城山 <b>山崎宣吉</b>	平町仲町 <b>廣田德行</b>	平町城山 <b>近藤廣記</b>
平町伊藤澤 <b>橋本芳太郎</b>	平町田町 <b>大橋秀冬</b>	平町田町 <b>平サービス</b> ステーシヨン	助役 高崎義男 浦村	産婆 川島トミ 内郷村	平町三丁目 <b>石川德壽</b> 湯本町	平町三丁目 <b>佐野屋旅館</b> 東京市外瀧野川町 西大原九九	赤堀信平 電話五三三三番	仙臺市東九番丁三三 <b>中野節夫</b> 盛岡市上山 盛岡中學校
盛岡市上山 <b>高木稻水</b>								

新年來る

江尻 中

◎新年來る 無前の危局に處して、國運瀕々隆に國威益々揚る、度で聖壽の萬々歳を謳はん哉。  
◎新年來る 全世界聯盟なるもの平和を企圖して然も尙ほ暗雲到處に低迷す敢て邦人の狂醉亂舞を戒む  
◎新年來る 然も歐米の毒牙既に極東に及ぶ、希くは我が武力をして強人たらしめざれ  
◎新年來る 森後れて北風我が面なる  
◎新年來る 然も隣邦友誼無く極力排日に努む、東亞は東亞の東亞也、斷々乎として鐵錘を下せ  
◎新年來る 然も小作爭議鑽山工場の労働爭議尙ほ熾ます、人心次第に激惡化し來る、起て起つて民族精神を作興せよ  
◎新年來る 然も殺人的不景氣未だ去らず、加ふるに支那問題更に内閣の危機到來を暗示す、朝野深く之を思へ  
◎新年來る 然も舊年子の禍に貽せるもの甚だ多く、至て難し、三杯の屠蘇に可醉我心寒し矣  
屠蘇酒 小瓶に吹く水雨かな

謹賀新年

湯本町 入山探炭 株式會社坑務所	湯本町 湯本用無盡株式會社	湯本町 山形屋鈴木康平 旅館	湯本町 鯨岡 潔	湯本町 鯨岡久一郎	平窪村 銘酒松本徳一	湯本町 高萩佐久馬	湯本町 石城郡小學會	湯本町 堀 一郎	湯本町 片岡醫院	湯本町 若松修一
杉山炭礦業所長 杉山今朝吉	浪花炭礦業所長 佐藤留藏	内郷村白水 五十嵐炭礦業所	磐城炭礦運輸課長 筒井磐雄	入山探炭會社 大越 新	好間村 小田吉治	衆議院議員 比佐 昌平	内郷村 吉田庄太郎	湯本町 松柏館 比佐榮一	湯本町 議員 村上六平	内郷村 大友寅吉
鹿島村 新妻贊雄	鹿島村 黒木美顯	鹿島村 鈴木大藏	内郷村 山崎佐市郎	湯本町 高木正巳	草野村 渡邊商店	山東省博山 博東公司 菅波 豊	飯野村 山崎吉平	内郷村 加藤友常	湯本町 高濱兼義	好間村 長橋長造
平町柳原澤 平製株式會社	平町城山 青沼鋒太郎	所得税調査員 阿部唯次郎	大浦村 柴田正則	湯本町 議員 矢吹佐市	小名濱町 登記所長 江名信組合	小名濱町 立憲發正會磐城支部長 齋藤 晃	小名濱町 鈴木 榮	高久村 鈴木龜之助	高久村 鈴木善枝	
勿來町 赤津庄兵衛	鹿島村 江尻寅治郎	双葉郡廣野村 大越三吉	雙葉郡廣野村 野村醫院	雙葉郡廣野村 喜春 喜木田 喜屋	小名濱町 高木 保	植田町 鷺 清昇	小名濱町 古川傳一	小名濱町 志賀要平	江名町 遠藤俊一郎	高久村 鈴木醫院
江名町中ノ作 浦節吉田長兵衛	箕輪村高野 中ノ湯 高萩忠太	小名濱町 藝妓 新 米	小名濱町 立花雄七	回春園長 金親 費	内郷村 吉田三郎	植田町 鈴木眼科醫院	植田町 小野 保	玉川尋常小學校 職員一同	豊間村 濱屋旅館	植田町 森合醫院
山田村 安島重三郎	川部村 兒玉萬平	下小川村上平 矢吹醫院	大野村 木田 剛	江名町 中山秀雄	澤渡村 鈴木茂作	澤渡村 職員一同	植田町 坂本龜太郎	勿來町 小林醫院	好間村 強口唯七郎	小名濱町 高木忠治